

謹賀新年 ～「浜を守る！ぎょさい総加入運動」初年度の状況～

全国の皆様、新年あけましておめでとうございます。

さて、めでたい新年ではありますが、漁業経営は様々な災害に悩まされ続けてまいりました。次から次へと発生し、定置漁具や養殖施設を中心に大きな損害を与えた爆弾低気圧や、収束の見込が立たない大型クラゲの来襲に加え、最近ではノロウィルスの大流行による風評被害により養殖カキの価格が暴落するなど、漁業経営を取りまく環境は更に厳しいものとなっています。このように、次々と発生する災害が漁業者の皆様を困らせている中、漁業経営のセーフティネットとしての「ぎょさい」加入と補償力のアップが急務となっています。

平成 19 年度は「浜を守る！ぎょさい総加入運動」の第2年度となりますが、亥年である今年は加入拡大に向けて「猪突猛進」の勢いで突っ走っていかうという意気込みで臨みたいと思います。また、今年の水産基本計画の見直しの年であり、新しい経営安定対策をはじめとする新たな水産政策の展開に大きな期待を抱いております。

ところで、運動初年度の加入状況は、昨年 12 月末現在で共済金額 2,968 億円(前年同期比で 102%、47 億円の増加)と、これまでにない成果をあげております。この結果は、新たにスタートした「漁業共済基盤強化事業」を活用した加入推進によるところも大きいですが、何と云っても関係者の皆様の「ぎょさい」に対するご支援ご協力の賜物であり、この点につきましては心から感謝している次第です。

平成 18 年度も余すところあと2か月ほどとなりましたが、最後まで気を抜くことなく、加入計画(共済金額 4,121 億円)の達成に向けて頑張る所存ですのでよろしく願いいたします。

(平成 19 年 1 月 15 日 運動情報版より)